

## 労働力人口

平成15年平均の15歳以上人口は606万3千人で、前年に比べ3万4千人(0.6%)増加しました。このうち、労働力人口は389万5千人で、前年に比べ2万4千人(0.6%)増加しました。

労働力人口を男女別にみますと、男性は233万4千人、女性は156万人で、前年に比べ男性は8千人(0.3%)、女性は1万5千人(1.0%)それぞれ増加しました。(第1表参照)

## 労働力人口比率

労働力人口比率は64.2%で、前年と同率でした。また、全国の平成15年平均(60.8%)と比べて3.4ポイント上回っています。

男女別にみますと、男性は77.4%、女性は51.2%で、前年に比べ男性は0.1ポイント低下し、女性は0.2ポイント上昇しました。(第1表参照)

## 就業者

平成15年平均の就業者数は373万9千人で、前年に比べ2万4千人(0.6%)増加しました。

男女別にみると、男性は223万9千人、女性は150万人で、前年に比べ男性は4千人(0.2%)、女性は2万人(1.4%)それぞれ増加しました。

就業者数の推移を平成10年以降についてみると、10年、11年と2年連続して減少しましたが、12年は増加に転じ、13年、14年は2年連続して減少しましたが、15年は3年ぶりに増加しました。

(表1、第1表参照)

表1 就業者数の推移

	(千人、%)								
	男 女 計			男			女		
	実数	対前年		実数	対前年		実数	対前年	
増加数		率	増加数		率	増加数		率	
平成10年	3772	△ 23	△ 0.6	2267	△ 8	△ 0.4	1505	△ 15	△ 1.0
11	3748	△ 24	△ 0.6	2254	△ 13	△ 0.6	1493	△ 12	△ 0.8
12	3770	22	0.6	2254	0	0.0	1516	23	1.5
13	3745	△ 25	△ 0.7	2242	△ 12	△ 0.5	1503	△ 13	△ 0.9
14	3715	△ 30	△ 0.8	2235	△ 7	△ 0.3	1480	△ 23	△ 1.5
15	3739	24	0.6	2239	4	0.2	1500	20	1.4

## 産業別就業者

就業者数を主な産業別でみると、建設業は30万人(うち雇用者23万5千人)、製造業は106万人(同98万7千人)、情報通信業は6万8千人(同6万6千人)。運輸業は20万9千人(同19万9千人)、卸売・小売業は64万2千人(同56万3千人)、飲食店、宿泊業は20万9千人(同15万6千人)、医療、福祉は24万3千人(同22万5千人)、サービス業(他に分類されないもの)は46万5千人(同38万人)でした。

前年に比べ製造業は3万1千人(3.0%)、医療、福祉は2万3千人(10.5%)、情報通信業は9千人(15.3%)、サービス業(他に分類されないもの)は4千人(0.9%)、運輸業は2千人(1.0%)、飲食店、宿泊業は1千人(0.5%)それぞれ増加しましたが、建設業は4万2千人(△12.3%)、卸売・小売業は1千人(0.2%)それぞれ減少しました。

また、産業別の雇用者数を前年と比べると、製造業は2万8千人(2.9%)、医療、福祉は2万9千人(14.8%)、情報通信業は7千人(11.9%)、サービス業(他に分類されないもの)は3千人(0.8%)、運輸業は2千人(1.0%)それぞれ増加しましたが、建設業は2万6千人( $\Delta$ 10.0%)、飲食店、宿泊業は4千人( $\Delta$ 2.5%)それぞれ減少しました。なお、卸売・小売業は増減がありませんでした。(表2、第1表参照)

表2 主な産業別雇用者数

	〔千人、%〕									
	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学童・児童養護業	サービス業〔他に分類されないもの〕
平成15年	235	987	66	199	563	69	156	225	135	380
増減数	$\Delta$ 26	28	7	2	0	$\Delta$ 12	$\Delta$ 4	29	$\Delta$ 1	3
増減率	$\Delta$ 10.0	2.9	11.9	1.0	0.0	$\Delta$ 14.8	$\Delta$ 2.5	14.8	$\Delta$ 0.7	0.8

## 完全失業者(率)

平成15年平均の完全失業者数は15万5千人で、前年に比べ1千人( $\Delta$ 0.6%)減少しました。

男女別にみると、男性は9万5千人、女性は6万人で、前年に比べ男性は4千人(4.4%)増加しましたが、女性は5千人( $\Delta$ 7.7%)減少しました。

また、全国の平成15年平均の完全失業者数は350万人(前年は359万人)となっています。

(第1表、参考表参照)

## 完全失業率

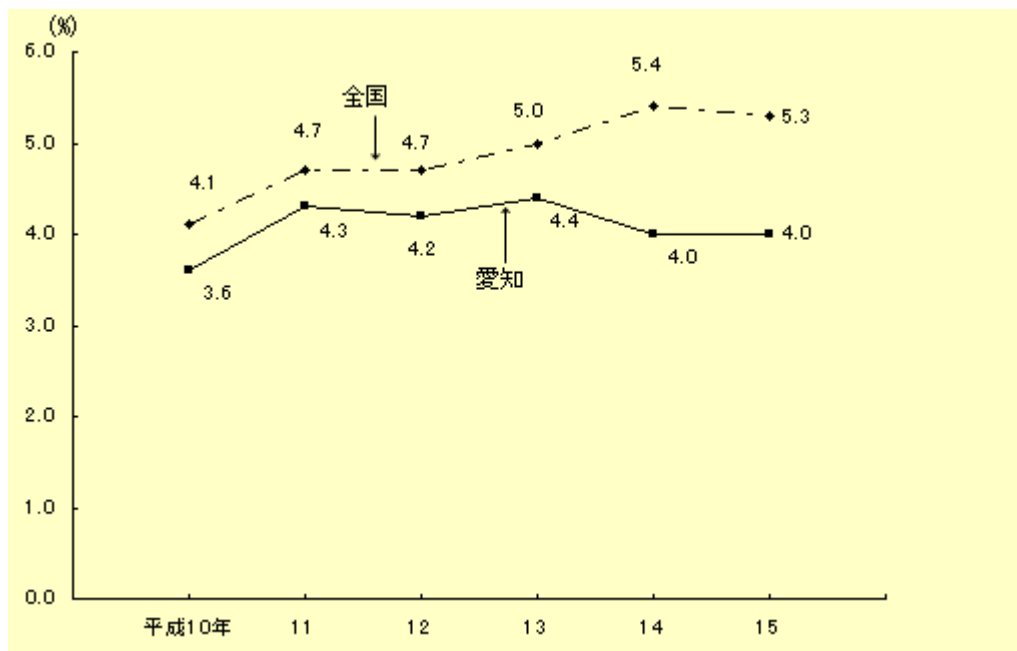
平成15年平均の完全失業率は4.0%で、前年と同率でした。

男女別にみると、男性は4.1%、女性は3.8%で、前年に比べ男性は0.2ポイント上昇しましたが、女性は0.4ポイント低下しました。

また、全国の平成15年平均の完全失業率は5.3%で、男性は5.5%、女性は4.9%となっています。

(図1、第1表、参考表参照)

図1 完全失業率の推移(愛知・全国)



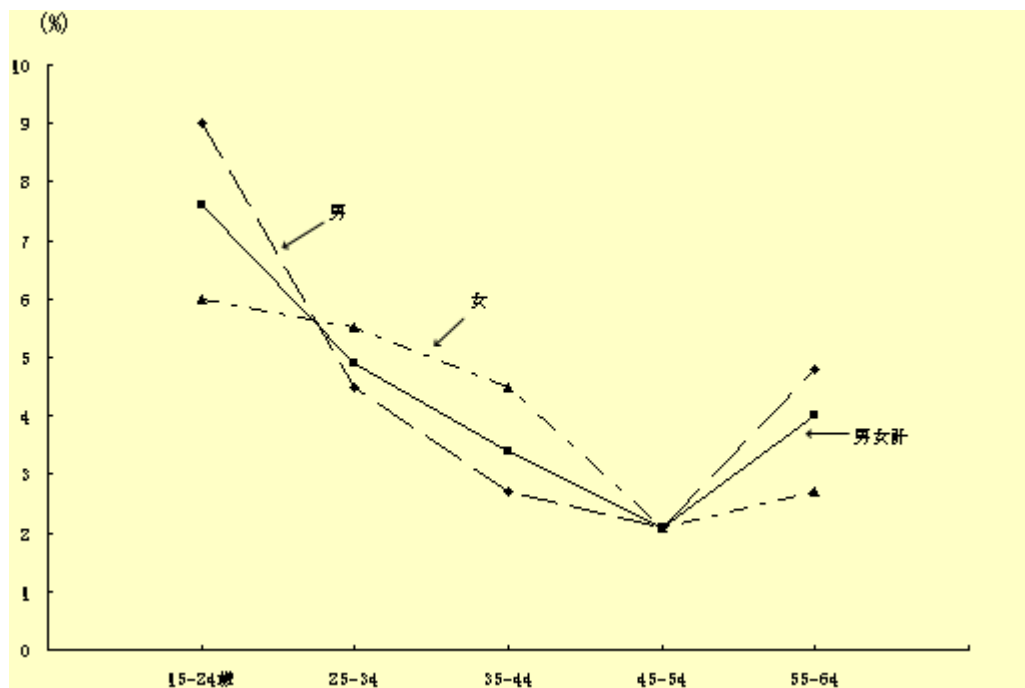
完全失業率を年齢階級別にみると、15～24歳が7.6%と最も高く、次いで25～34歳が4.9%、55～64歳が4.0%、35～44歳が3.4%、45～54歳が2.1%の順となっています。

前年と比べると、35～44歳で0.8ポイント上昇しましたが、55～64歳で0.7ポイント、15～24歳で0.5ポイント、45～54歳で0.1ポイントそれぞれ低下しています。なお、25～34歳では同率でした。

男女別にみると、男性は15～24歳が9.0%で最も高く、次いで55～64歳が4.8%、25～34歳が4.5%、35～44歳が2.7%、45～54歳が2.1%の順となっています。女性は15～24歳が6.0%と最も高く、次いで25～34歳が5.5%、35～44歳が4.5%、55～64歳が2.7%、45～54歳が2.1%の順となっています。

前年と比べると、男性は35～44歳で0.8ポイント、25～34歳で0.6ポイント、15～24歳で0.4ポイントそれぞれ上昇しましたが、55～64歳で1.0ポイント、45～54歳で0.1ポイントそれぞれ低下しました。女性は35～44歳で0.8ポイント上昇しましたが、15～24歳で1.6ポイント、25～34歳で1.1ポイント、55～64歳で0.2ポイント、45～54歳で0.1ポイントそれぞれ低下しました。(図3、第5表参照)

図2 年齢階級別完全失業率(平成15年平均)



## 非労働力人口

平成15年平均の非労働力人口は216万6千人で、前年に比べ1万人(0.5%)増加しました。

男女別にみると、男性は68万人、女性は148万6千人で、前年に比べ男性は7千人(1.0%)、女性は3千人(0.2%)それぞれ増加しました。(第1表参照)